

第23回(平成23年度)加藤記念研究助成募集要項

1. 助成の趣旨

本研究助成は、バイオサイエンス分野における有能な若手研究者を見出し、その創造的かつ先駆的研究を支援することを目的とする。

2. 助成対象研究領域・課題

(1) 「メディカルサイエンス分野」

医薬・医療への応用を念頭に行う基礎的研究(以下は例示)

- ・ 哺乳動物の個体、組織、細胞等を用いた生理・薬理・病理現象等を解析する研究
- ・ 臨床応用を目指した基礎研究(医薬品候補の探索・生産研究は除く)
- ・ 病態診断技術の開発及びその基礎となる研究

(2) 「バイオテクノロジー分野」

生物材料や生物機能を利用し、物質生産、有用物質探索、汎用技術の開発・応用等を念頭に行う研究(以下は例示)

- ・ 微生物、植物、動物等の機能を解析・利用して物質生産に繋げようとする研究
- ・ 生理活性物質・有用物質(医薬品候補含む)の探索、構造解析等に関する研究
- ・ 食糧・環境・エネルギー等に関わる生物材料や生物機能等を利用した基礎的研究

3. 助成金額・期間

(1) 助成金額

総額 5,000 万円

- ・ メディカルサイエンス分野：15件、1件当たり200万円
- ・ バイオテクノロジー分野：10件、1件当たり200万円

(2) 助成期間

平成24年4月～平成26年3月

4. 応募資格

国内の大学又は公的研究機関に所属し、以下条件を満たす研究者とする。

(1) 年齢(9月30日現在)

- ・ 40才以下
- ・ ただし、応募時までに産前産後休職、育児休職を取得した経験のある者については、当該期間を延長する(自己申告が必要)。

(2) 除外対象

- ・ 学生、大学院生
- ・ 教授又はそれと同等の職にある者。ただし、教授等に昇進して3年以内は応募可能とする(平成20年9月30日以前に教授に昇進した者は不可)。
- ・ 過去に本助成を受領し3年間経過していない者(第20回以降の助成(平成21年4月以降研究開始)を受けた者は対象外)
- ・ 当財団選考委員と同一研究室に所属する者
- ・ 国外での研究
- ・ 本年度(平成23年12月まで決定)に年間1,000万円以上の公的助成(科研費等)又は当財団助成金額を超える助成金を他財団等から受ける者

5. 応募方法

当財団所定の書式により、下記 2 種の書面をともに提出。書式はいずれも財団ホームページよりダウンロード可能。

(1) 書面提出

- ・ 「申請書」：正 1 通(片面印刷)、副 3 通 (両面印刷、正の白黒両面コピーで可)
- ・ 「推薦書」：正 1 通、副 3 通 (正の白黒コピーで可)

(2) メール添付提出

- ・ 「申請概要」：エクセル表に必要事項を記入しファイル添付の上メール送信。この際、ファイル名及びメール件名を「第 23 回加藤記念研究助成 (申請者氏名を記入)」とすること。

6. 推薦者

推薦者は以下の通りとし、各推薦者の推薦枠は 2 分野いずれか 1 件とする (複数の組織長兼務の場合は各組織長名で推薦可)。

(1) 大学

- ・ 学部長、大学院研究科長又は研究所長 (単科大学の場合は学長)
- ・ 学部と同一系列・機能の大学院研究科及び学部付属病院・学部附属研究所は、合わせて推薦枠 1 件とする (例：医学部と大学院医学系研究科と医学部付属病院合わせて 1 枠)。

(2) 国公立研究所及びその他公的研究機関

- ・ 研究機関 (大規模研究機関・機構の場合は傘下の各研究所) の長

7. 募集開始と締切日

- ・ 開始日：平成 23 年 7 月 11 日(月)
- ・ 締切日：平成 23 年 9 月 30 日(金) (当日消印可)

8. 選考及び決定

(1) 平成 23 年 12 月開催の当財団選考委員会で選考の上、平成 24 年 2 月開催の理事会で決定

(2) 同等水準が採択数を超える場合、選考基準として以下を考慮

- ・ 若手研究者を優先
- ・ 研究室・テーマ立ち上げ状況を考慮
- ・ 新設・小規模の研究機関を優先
- ・ 女性研究者を優先
- ・ 地域性を考慮
- ・ 他財団等から同年度に助成を受けない者を優先

9. 採否通知

- (1) 内定通知：平成 24 年 1 月 6 日頃に採択予定者に電子メール連絡 (受領確認)
- (2) 正式通知：平成 24 年 2 月 28 日までに申請者及び推薦者に書面で通知

10. 助成金の贈呈

(1) 贈呈式

平成 24 年 3 月 2 日 (金) 如水会館 (東京都) にて開催するので参加のこと。旅費支給。

(2) 助成金贈呈方法

- ・ 平成 24 年 3 月末までに本人又は所属研究室等の銀行口座に振込む。
- ・ 本財団は大学等に直接寄附する奨学寄附金等の形態は採らないが、本助成の条件を遵守すれば、本人が所属機関に奨学寄附金等として再寄附のうえ利用することは認める。

11. 助成金の使途

- ・ 申請し採択された研究内容に限る。
- ・ 物品購入費用に限定せず、本人が使用する旅費・会議参加費・外注費等も認める。ただし、共同研究者の労務費、研究根幹に関わる外部委託費用は対象外。
- ・ 研究内容又は使途の大きな変更は財団の事前承認を要する。
- ・ 研究機関又は研究室全体の間接経費・一般管理費（オーバーヘッド）は認めない。
- ・ 助成金を所属機関に再寄附のうえ利用しており本人が上記使用期間内に他の研究機関・組織に移動する場合は、本人に対する研究助成金として新たな研究機関・組織に寄附金の移し換えを行うものとする。

12. 研究成果等の報告

(1) 研究成果報告書

平成 26 年 3 月末迄に所定書式で提出 (A4 書式 2 枚程度、研究期間終了前に書式連絡)。
全文を当財団の年報、概要を当財団のホームページにそれぞれ掲載する。

(2) 収支報告書

平成 26 年 4 月末までに提出

(3) 報告・交流会

平成 26 年 10 月頃に東京近辺にて開催するので参加のこと。旅費支給。

13. その他

- ・ 募集要項と共に「研究助成 Q&A」を財団のホームページに掲載している。研究助成についてよくある質問及び補足事項について説明しているの必要に応じ参照のこと。
- ・ 本助成に関して取得した個人情報、財団ホームページ掲載の「個人情報について」に従い、本助成に必要な業務に限定して利用する。
- ・ 助成決定者については、財団のホームページ・年報、報道機関その他により、氏名、所属機関、職名、助成対象となった研究題目等を公表する。
- ・ 産休育休による応募資格年齢の延長を希望する者については、事務局から要請があった場合、それを証明する書類を提出すること。
- ・ 提出された申請関係書類は、採否にかかわらず返却しない。

以上

連絡先： 公益財団法人 加藤記念バイオサイエンス振興財団 事務局
〒194-8533 東京都町田市旭町 3-6-6
TEL: 042-725-2576 FAX :042-729-4009
E-Mail : ben.kato.zaidan@kyowa-kirin.co.jp
URL : <http://www.katokinen.or.jp/>

研究分野(キーワード)表

この研究分野(キーワード)表は、研究計画の概要把握と選考委員の審査担当を決める上で参考にするためのものです。

所属にこだわらず、研究計画の内容を表すキーワードを申請分野に応じて下記表より選択し、番号を申請書1ページの該当欄に記載ください(出来るだけ複数)。また表にない項目や下位概念等、研究内容を特徴付ける個別キーワードをフリーワードで記載下さい。

メディカルサイエンス分野		バイオテクノロジー分野	
「医薬・医療への応用を念頭に行う基礎研究」(医薬品候補の探索・生産研究は除く)		「生物材料や生物機能を利用し、物質生産、有用物質探索、汎用技術の開発・応用等を念頭に行う研究」	
1	生理学	31	生物学・細胞生物学
2	薬理学	32	生理学
3	免疫学	33	生化学・分子生物学
4	生化学・分子生物学	34	構造生物学
5	細胞医療・再生医療	35	天然物化学
6	臨床検査・診断	36	構造解析・分子設計
7	癌・腫瘍	37	食品化学・栄養化学
8	感染症	38	食糧・農畜水産
9	免疫・アレルギー	39	環境科学・グリーンケミストリー
10	血液	40	物質生産
11	脳・神経	41	生合成・代謝
12	循環器	42	スクリーニング
13	消化器	43	バイオアッセイ
14	骨・関節・歯	44	微生物・ウイルス
15	発生・分化・老化	45	動物・植物
16	記憶・シナプス機能	46	細胞
17	細胞周期・細胞分化・細胞死	47	酵素・生体触媒
18	細胞情報・シグナル伝達機構	48	遺伝子工学
19	病態・疾患モデル	49	培養工学
20	ファーマコジェノミクス・トキシコジェノミクス	50	生体工学
21	製剤・ドラッグデリバリー	51	ケミカルジェノミクス
22	受容体・トランスポーター	52	バイオインフォマティクス
23	細胞外マトリックス・接着分子	53	生化学的測定・バイオセンサー
24	疾患関連分子標的	54	バイオマテリアル
25	抗原・抗体・補体	55	生理活性物質
26	内分泌・ホルモン	56	アミノ酸・ペプチド・蛋白質
27	神経伝達物質	57	核酸
28	サイトカイン	58	糖質・糖鎖
29	染色体・遺伝子	59	脂質・ビタミン
30	その他(フリーワードで)	60	その他(フリーワードで)